

一般会計 主な経費

※各表の①は構成比、②は町民1人当たりの予算額(平成15年3月31日現在の人口4970人で、算出してあります。)

豊かな暮らしのために



農林業費 329,036千円
①11.4% ②66,204円

商工費 30,880千円
①1.1% ②6,213円

広域営農団地農道等整備事業(川薩地区、川薩3期地区) 88,222千円

町単むらづくり整備事業(D型) 1,942千円

広域基幹林道北薩2号線整備事業 3,571千円

森林整備地域活動支援事業 2,955千円

商工業振興資金貸付事業 10,000千円

文化と教養のために



教育費 251,524千円
①8.7% ②50,608円

学校施設の整備(机・椅子の購入) 1,748千円

女性の広場事業 1,333千円

地域社会教育活動総合事業 1,678千円

人づくり基金事業 2,545千円

借金返済のために



公債費 701,644千円
①24.2% ②141,176円

起債償還元金及び利子

住民サービスのために



議会費 82,118千円
①2.8% ②16,523円

総務費 462,343千円
①16.0% ②93,027円

ふるさとづくり促進対策事業 13,400千円

地籍調査事業(紫尾地区) 51,498千円

イベント基金助成事業 8,000千円

生きがいと健康のために



民生費 492,752千円
①17.0% ②99,145円

衛生費 230,054千円
①7.9% ②46,289円

知的障害者支援費 17,884千円

小型合併処理浄化槽設置整備事業 24,710千円

老人保健事業 22,084千円

安全・快適な暮らしのために



土木費 247,341千円
①8.5% ②49,767円

消防費 62,155千円
①2.2% ②12,506円

水力発電施設周辺地域交付金事業 2,000千円

過疎対策事業(建場山線ほか5路線) 135,800千円

県単急傾斜地崩壊対策事業(城内地区) 10,300千円

祁答院地区消防組合負担金 40,091千円

15年度一般会計

28億9,315万7千円

骨格予算：前年度比4.5%減



広域営農団地農道等整備事業(川薩3期地区)で工事が進められる大平地区

平成15年度各会計予算(下表参照)が50億614万5千円と決まりました。一般会計を項目別(5ページ参照)に見てみると、公債費が7億164万4千円で全体の約24%を占めており、借入れの返済が大きく膨らんでいます。主な事業を見てみると、総務費では、ふるさとづくり促進対策事業の住宅取得対策事業等、地籍調査事業(紫尾地区)、民生費関係では、知的障害者支援費(サービス)を本人が

膨らむ借金返済 歳出のトップを占める

3月定例会は、3月5日から28日までの24日間の会期で開かれ、平成15年度一般会計をはじめ、5特別会計の当初予算や鶴田町紫尾温泉交流棟の設置及び管理に関する条例の制定、鶴田町ふるさとづくり促進に関する条例の一部改正など32議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

15年度各会計予算 (単位：千円・%)

Table with 3 columns: 会計名, 予算額, 前年度比. Rows include 一般会計, 国民健康保険特別会計, 老人保健医療特別会計, 介護保険特別会計, 簡易水道事業特別会計.

中央地区簡易水道事業会計

Table with 4 columns: 科目, 収益的収入及び支出, 対前年度比, 資本的収入及び支出, 対前年度比. Rows include 収入, 支出.

選び、サービスに係る費用を町が支援する。)、衛生費関係では、小型合併処理浄化槽設置整備事業(52基)、農林業関係では、有害鳥獣対策事業(重点作物への被害防止)、広域営農団地農道等整備事業(川薩地区、川薩3期地区)、土木費では、過疎対策事業(岩川線外5路線)、県単急傾斜地崩壊対策事業(城内地区)などとなっています。歳入の主なものは、町税3億375万8千円(構成比11.7%)、地方交付税15億5151万9千円(同53.6%)、国・県支出金2億910万9千円(同9.3%)、町債4億290万円(同14.8%)などです。